



## PRESS RELEASE

報道関係 各位

2025 年 8 月 5 日  
公益財団法人日本パラスポーツ協会

### 「全国障害者スポーツ大会」から 「全国パラスポーツ大会」への名称変更について

当協会は、スポーツ基本法の改正に伴い、令和13年(2031年)に奈良県で開催されます第30回全国障害者スポーツ大会より「全国パラスポーツ大会」に名称を変更することに対する会長のコメントを発表いたします。

#### 会長 森 和之のコメント

東京 2020 パラリンピック競技大会での選手たちの活躍により、多くの国民にパラスポーツの価値、魅力が伝わり、多様性を尊重する共生社会の実現に向けた多くの気づきが国内に拡がりました。そのような東京大会のレガシーとして、当協会では協会名称をはじめ、公認指導者資格においても「障がい者スポーツ」の表記をより親しみやすく、多様性を尊重する共生社会の実現へ思いを馳せた「パラスポーツ」へ名称を変更いたしました。

また、かねてより「全国障害者スポーツ大会」の名称についても、スポーツ基本法の改正に併せ、変更すべく検討を進めて参りました。

この度、「スポーツ基本法」の改正が成立し、令和13年に奈良県で開催されます第30回全国障害者スポーツ大会より「全国パラスポーツ大会」に名称を変更することといたしました。

これまで、全国障害者スポーツ大会には、毎年、5千6百人を超える選手団が一堂に開催県に集い、大会が盛大に開催されて参りました。また、各都道府県・指定都市では、毎年、全国障害者スポーツ大会に向けた予選会を兼ねる大会が開催され、多くの自治体や競技団体等の関係者のご尽力のもと、約6万人の障がい者が予選会に参加されるなど、当協会としては「障がい者のスポーツの普及・振興の要の大会」として位置付けております。

引き続き、開催県、スポーツ庁をはじめ、関係の皆さまとともに多くの障がい者がスポーツに参加できる大会として、「全国パラスポーツ大会」の充実に取組む所存でありますので、皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

以上

(次頁、歴史的経緯)



## 「全国障害者スポーツ大会(全国パラスポーツ大会)」の歴史

1964 年 東京パラリンピックの成功

1965 年 日本身体障害者スポーツ協会設立

第 1 回全国身体障害者スポーツ大会 開催

1992 年 第 1 回全国知的障害者スポーツ大会 開催

2001 年 第 1 回全国障害者スポーツ大会 開催

2008 年 第 8 回全国障害者スポーツ大会より、  
精神障がい:団体競技導入(バレーボール)、  
内部障がい:個人競技導入(陸上競技、アーチェリー、フライングディスク)

2019 年 第 19 回全国障害者スポーツ大会より、  
精神障がい:個人競技導入(卓球)

2021 年 第 21 回全国障害者スポーツ大会より、  
身体障がい(重度):個人競技導入(ボッチャ)

※2019 年大会は台風により中止、2020 年大会・2021 年大会は新型コロナウイルス感染症の影響により、それぞれ延期・中止となった。精神障がいの卓球、身体障がいのボッチャは、2022 年大会から実施され、計14競技(個人7競技、団体7競技)が現在実施されている。

2025 年 第 30 回全国障害者スポーツ大会(奈良県)より、  
大会名称を「全国パラスポーツ大会」へ変更することが決定

他、JPSA 発刊「パラスポーツの歴史と現状」P9 以降をご確認ください。

([https://www.parasports.or.jp/about/images/jpsa%E6%AD%B4%E5%8F%B2%E3%81%A8%E7%8F%BE%E7%8A%B6\\_2024\\_web.pdf](https://www.parasports.or.jp/about/images/jpsa%E6%AD%B4%E5%8F%B2%E3%81%A8%E7%8F%BE%E7%8A%B6_2024_web.pdf))

<本件に関するお問合せ先>  
公益財団法人日本パラスポーツ協会  
企画広報部 担当:黒田、堀添、成見  
Mail:jpcjpsa-media@parasports.or.jp